

株主の皆様へ

埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵 388 番地
 太陽ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 齋藤 齊

インターネット配信視聴時にいただいたご質問への回答に関するお知らせ

当社第 79 回定時株主総会のインターネット配信の際に、株主の皆様より頂いておりましたご質問につきまして、改めて下記のとおり回答しますのでお知らせいたします。

記

番号	ご質問	回答
1	親類が太陽ホールディングスで働いており、人を大事にする会社だと聞いており、今までそう思っておりましたが、実際はどのようなのでしょうか。本当はトップダウンで経営判断されている会社なのではないでしょうか。	経営判断に関しては、全て取締役会に諮っており、特に買収提案に関しては、特別委員会を設けて検討しており、独立性は保たれていると考えております。佐藤前社長は、社員一人一人とのコミュニケーションを大事にし、あらゆる年代の社員から意見をくみ取り、経営に反映しており、トップダウンというのは、当てはまらないと考えております。佐藤前社長の取り組みや施策、それに対する従業員の声については後記番号 3 の回答もご参照ください。
2	一部メディアで非上場化についての報道が流れていたが、会社としてどのような方針で考えていますか。	当社は、各種提案を受領する中、当社からの独立性を有する特別委員会を設置のうえ、企業価値向上及び株主共同の利益の確保の観点から、各種提案の内容を比較しつつ、さまざまな選択肢の検討を行っております。現在、過半数が社外有識者で構成される 2030 Committee にて、中期経営計画案を検討しております。当社は、8 月下旬ごろに 2030 Committee を踏まえ中期経営計画を公表し、この計画を踏まえ資本政策の検討を進めてまいります。最終的には、2030 Committee の提言に基づき取締役会で決定した方針を当社からの独立性を有する特別委員会に諮問し、公正、透明及び客観的な比較検討を行い、資本政策のあるべき姿を決定・開示する方針です。
3	従業員から、社長解任に対する反対の意見書が出ておりましたが、これが真意であれば素晴らしい会社だと思います。社長は、普段から従業員と接する際にどのような意識を持たれているのでしょうか。また従業員から社長はどのように映っている感じていますか。	当社は、従業員一人ひとりが自律型人材として、変化を楽しみながら事業を創出できることこそが、企業価値向上につながるの考えのもと、佐藤前社長の社長就任以来、継続的な人的資本への投資の更なる強化を図ってまいりました。さらに、佐藤前社長は、従業員の自律を促すことができるマネジメント層を育成し、相互理解を深めるために、傾聴を重視した、従業員との定期的な対話の場を設けてまいりました。佐藤前社長が長きに渡り、これらの取り組みや施策を率先して推し進めてきたことで、年齢やポジションに関係なく挑戦することを後押しする企業文化・組織風土が根付いており、企業の発展と個々の成長を同時に実感できる環境下で業務を推進できていると感じているとの従業員の声が多く寄せられています。

・ご質問は、本公開にあたりご理解いただきやすいよう、実際にいただいた内容とは一部表現を変えて記載している場合がございます。

以上